

生徒にもすすめたい ジーニアス “天才的”な電子辞書の選び方

関山健治



ほんの数年前までは、「電子辞書を使うと単語が覚えられない」「電子辞書には例文が載っていない」といった先入観を持つ英語教員も多かったが、最近では教員はもちろん、ほとんどの生徒が電子辞書を使っているケースも珍しくはない。その一方で、機種が多すぎてどれを選べばよいか分からないという声も多くきかれる。

本稿では、英語教員や高校、大学の生徒・学生を対象を絞り、ジーニアスファミリーの辞書を搭載した機種の中から、自分にぴったりの電子辞書を選ぶコツをステップ式に紹介したい。詳細は、拙ウェブサイト(<http://www.sekky.org/jisho.html>)もあわせてごらん下されば幸いである。

■Step 1: G大か、G3か

英語の辞書は、多くの語数を収録した一般辞典と、語数を抑え、例文や文法解説などを詳しくした学習辞典に大別される。『リーダーズ英和辞典』(研究社)などは前者、G3や『アクティブ・ジーニアス英和辞典』などは後者の辞書である。英語教員や研究者など、難解な英文を読む機会が多い人でも、英語を読むときは一般辞書、英語を書いたり英作文を添削するときなどは学習辞書、のように用途に応じて使い分けることが望ましい。

G大は、専門的な英文の読解にも対応した25万5,000語を収録しつつ、一方で基本的な語の用例や文法解説はG3をもしのぐほど詳しいという、一般英和と学習英和の両方の機能を持った辞書であり、数ある英和辞典の中で唯一といっても良い「大は小を兼ねる」辞書であると言える。

英語教師や英語を専攻する大学生、院生には、

G3よりもG大の方が向いている。G大は、G3にも載っているような基本的な語でも用例や専門的な語義が增強されており、論文などを読むときには手放せない。とくに、言語学、辞書学に関する専門用語は充実している。たとえば、turn-taking や adjacency pairs といった語は、言語学の中でも最近盛んに研究がなされている会話分析の基本用語であるが、G3はもちろん、合計46万語を収録している『リーダーズ英和辞典』『リーダーズ・プラス』にさえ出ていないが、G大にはいずれも載っている。

■Step 2: サイズを決める

電子辞書には、ワイシャツの胸ポケットにも入る小型モデルと、キーの打ちやすさ、画面の見やすさを重視した大型モデルがある。大型といっても文庫本程度のサイズなので、カバン等に入れて持ち運ぶなら十分である。

小型モデルは、通勤時の電車の中や教壇に立ってちょっと調べるのに向いている。常に身につけて持ち運べるので、置き忘れたり、カバンの中で圧力がかかって故障する危険も少ない。高校生にとっては、狭い学校の机の上においても場所をとらないという利点もあるだろう。一方、キーや画面が小さいので、机上で頻繁に引くのには不向きである。従来は、液晶解像度も大型モデルより低いものが多く、スクロールの手間がかかったが、最近ではSR-M5000のように大型機と同等の解像度を持った機種も出てきた。

一方、大型モデルは、液晶パネルが大きいので文字が見やすく、キーも大きいので押しやすい。

ノートパソコンのようなフルキーボードを搭載した機種もあり、主に机上で使うのに向いている。薄型の機種が多いのも大型モデルの特色である。

■Step 3: コンテンツを選ぶ

電子辞書には様々な種類があるが、英語教員や英語を専門とする大学生はもちろん、高校生でも英語に興味のある生徒にはぜひ英英辞典の入った機種をおすすめしたい。英英辞典が使いこなせない原因で最も多いのは、定義に書かれている単語の意味が分からないので、せっかく引いても理解できないということであろう。しかし、電子辞書なら後述のジャンプ機能により、英英を引いていて分からない単語があっても英和辞典で簡単に引き直しができるので、高校生でも英英を引きこなすことは不可能ではない。一方、受験勉強を重視し、とくに英語を専門にするつもりがない高校生なら、英英辞典よりも古語辞典の搭載されている機種を選ぶのも手である。

■Step 4: 付加機能を選ぶ

ここでは、英語教員や英語を学ぶ学生、生徒にとって重要な機能に絞って簡単に紹介する。

・**例文検索**：ある単語が含まれる例文を、英和、英英辞典の全例文の中からピックアップする機能。搭載されている辞書の例文をコーパス(corpus)として活用できるので、英語を書いたり、文法の授業などで特定の語句の含まれる教材を作成する際などに使える。本誌の読者には必須の機能と言ってよいだろう。

・**単語帳**：引いた単語の中で覚えておきたい単語をワンタッチで電子辞書のメモリに登録する機能。呼び出しや削除もワンタッチで行えるので、試験範囲の単語を登録して復習したり、初めて見た単語を登録するなど、紙の単語カードのような使い方ができる。

・**ジャンプ**：引いた単語の語義の中にある語をワンタッチで再検索する機能。和英に出ている訳語のニュアンスの差違を英英で引き比べてみるという使い方ができる。最近の機種は英単語だけでな

く日本語にもジャンプできるので、英和の訳語にある専門用語を広辞苑で調べることもできる。

■搭載辞書別おすすめ電子辞書

① G 大搭載 (小型機)

■ SR-M5000 (セイコーインスツルメンツ)

小型機でありながら他社の大型機と同等解像度の液晶画面を搭載。カバンにさえ入らない重さ数キログラムの G 大が、わずか135グラムで胸ポケットに入れて持ち歩ける。単語帳、日本語ジャンプ、例文検索など英語教員、学習者にとって必要な機能をすべて盛り込んだ最新機種。※複数の英和、英英を搭載した大型機(SR-T7000)も発売予定。

② G3 搭載 (小型機)

■ XD-R820 (カシオ) ※単語帳なし

G3, G 和英, ロングマンの学習英英辞典に加え、英語を書くための辞書として定評のある *Longman Language Activator* をはじめ、3冊の英語類語辞典を収録。英語を書く機会の多い英語教師や留学希望の学生などにおすすめしたい。

③ G3 搭載 (大型機)

■ IDF-4600 (キャノン) ※例文検索なし

1,000語まで記憶でき、出題モードも備えた単語帳機能は出色。機能の割に安価なので、大学受験をめざす高校生に最適。

■ PW-A8000 (シャープ) ※例文検索なし

英英辞典と古語辞典の両方を収録。業界で唯一日本語の類語辞典も搭載しており、受験生はもちろん、文章を書く機会の多い教員にも重宝。別売のカードにより百科事典等を追加することも可能。

■ SR-M6000 (セイコーインスツルメンツ)

G3に加え、『リーダーズ英和辞典』(リーダーズプラスは非収録)を収録したダブル英和搭載機。改訂直後の『新和英中辞典』第5版(研究社)や、自然な例文の多いコウビルド英英辞典を業界で唯一搭載するなど、英語教員や専門家を主なターゲットにした個性的な機種。

(せきやま けんじ・沖縄大学専任講師)